

注釈一覧表

※ 1	市庁舎が分散していた時には、各課等が会議に利用していたが、新庁舎の建設により、その利用がなくなった。 センターの設置目的が広まったため、より目的に沿った市民団体の利用が活発になり、民間企業等による曖昧な目的での使用が減少した。
※ 2	協議会に諮る事案がなかったため、特殊標章を作成した。
※ 3	申込みが少なかったため。
※ 4	申込みが少なかったため。
※ 5	申込みが少なかったため。
※ 6	平成 19 年度は交通安全に関する条例及び基本計画を優先して策定したため。
※ 7	当初計画では、10 団体であったが、予算が認められず、予算額に基づき補助金の上限額で、団体数を按分した結果が、5 団体であり、最大の結果を残している。
※ 8	用地確定の時期が当初より遅延し、基本設計業務委託を繰延べたため。
※ 9	用地確定の時期が当初より遅延し、基本設計業務委託を繰延べたため。
※ 10	予算不足のため。
※ 11	事業計画期間を 1 年延長し、1 箇所を平成 20 年度実施に繰延べたため。
※ 12	入札に伴う落札差額による。
※ 13	用地交渉が進まないため。
※ 14	実施計画(事業内容)の見直しによる。
※ 15	実施計画(事業内容)の見直しによる。
※ 16	実施計画(事業内容)の見直しによる。
※ 17	入札に伴う落札差額による。
※ 18	広報活動を月 1 回にしたため。
※ 19	長年の取組みによる普及率の向上と市民への周知不足。
※ 20	広報等により、野外焼却に関する啓発を実施したところ、市民の野外焼却に対する認識が高まったため。

※ 2 1	用地が予定どおり取得出来なかったため。
※ 2 2	平成 1 9 年度は現地調査はなく，自然環境調査報告書の編集と発刊を行ったため，計測不能。
※ 2 3	請負差金による。
※ 2 4	受け入れ先がない。
※ 2 5	関係機関からの要請が見込みより少なかった。
※ 2 6	事業調整の結果，平成 2 0 年度実施に変更。
※ 2 7	介護報酬の改定等未確定要素があり，事業者が参入について慎重になっている。
※ 2 8	講演会会場をふれあいホールとしたため。
※ 2 9	予算が 5 万円しかなく，1 講座しか実施できなかった。
※ 3 0	耐震診断の結果，工事をしなくても大丈夫となった。
※ 3 1	平成 2 0 年度に実施予定。
※ 3 2	園舎の老朽化に伴う改修に多額の支出を要したため。
※ 3 3	ハッピータウン福祉工房に対する補助。
※ 3 4	補助予定の 2 施設の内，グループホームきれいⅡが年度内に完成せず，繰越事業になったため。
※ 3 5	建設計画が中止となった。
※ 3 6	平成 2 0 年度事業のため。
※ 3 7	処理場の処理水放流位置変更に伴い土地所有者との調整に時間を費やしたため。
※ 3 8	全体事業費及び年度事業の微調整による。
※ 3 9	原油高騰等による経営環境悪化のため。
※ 4 0	巡回活動 1 5 5 件に対し，企業からの申請が 4 6 社であったため。
※ 4 1	参加予定の子どもの人数が減少したため。
※ 4 2	各組合の組織では役員が高齢になってきており，組織体制として苦慮している。
※ 4 3	実施団体が 1 団体のみで，希望イベント開催回数が一回であったため。
※ 4 4	募集に対する研究開発参画企業が 1 社であったため。
※ 4 5	申請企業が 2 社のみだったため。

※４６	事業への参画企業がなかったため。
※４７	国補事業であるが、当初要望額より減額交付決定されたため、目標数値の達成ができなかった。
※４８	地元要望件数が少なかったため。
※４９	県営事業による事業費及び事業期間が変更したため。
※５０	全体事業費が減額となったため。
※５１	県営事業による事業費及び事業期間が変更したため。
※５２	全体事業費が減額となったため。
※５３	補助対象事業の事業費及び件数が変更したため。
※５４	県営事業による事業費及び事業期間が変更したため。
※５５	県営事業による事業費及び事業期間が変更したため。
※５６	県営事業による事業費及び事業期間が変更したため。
※５７	県営事業による事業費及び事業期間が変更したため。
※５８	県営事業による事業費及び事業期間が変更したため。
※５９	当初計画予定になかった、大石橋の補強工事を緊急に行ったため。
※６０	用地取得の難航による。
※６１	用地取得の難航による。
※６２	用地取得の難航による。
※６３	用地取得に時間を要したため。
※６４	事業費が減少したため。
※６５	境界確認の遅れ等による。
※６６	実施計画の見直しにより、総事業費が増加したため、また、平成２０年度への事業繰越による。
※６７	実施計画の見直しにより、総事業費が増加したため、また、平成２０年度への事業繰越による。
※６８	問い合わせは多いが、助成額が少額で再構築費の助成がないことなどから、実際に除却する所有者が少ないため。
※６９	事業費の大きな運動広場の新設があり、当初予算にほぼ達したため３件で打ち切った。
※７０	火災報知器設置の前倒し等による事業内容の変更による。

※ 7 1	実施計画の見直しにより、総事業費が変更となったため、実績値は判定不能。
※ 7 2	県水受水開始時期及び受水量の変更決定の延期に伴う工事実施の遅れによる。
※ 7 3	県水受水開始時期及び受水量の変更決定の延期に伴う工事実施の遅れによる。
※ 7 4	テーマを学力保障に絞ったため。
※ 7 5	工事進捗状況による。
※ 7 6	子どもセミナー5校11学級、大人向けセミナー5校5講座の実施で、予算内実施可能数になるとともに、民間警備会社の安全安心講座も活用したため。
※ 7 7	火災・救急・救助事案に対する指揮隊の出動件数の減少による。
※ 7 8	指令車の更新が1台増となった。
※ 7 9	車庫・待機所の建設要望が1件のため実績が減った。